

地磁気に関する 市民科学ワークショップ

・功勞の証として名前の登録
・この分野の自由研究向け
相談受付（中高生対象）

参加者募集

2018年7月16日（月）海の日 13:00~16:30

定員 24 名, 事前申込み

過去には京都のような低緯度でもオーロラが見られたことが古文書などに記録されています。そのような時には巨大な磁気嵐が起こっており、地磁気は激しく変動しています。これはなぜでしょうか。この理由を学びながら、実際に、歴史的に貴重な地磁気のデータをもとに、国際標準の地磁気のデジタルデータベースを作成するワークショップを開催します。この題材を夏休みの自由研究に用いる中高生に対するサポートも行います。地磁気世界資料解析センターが世界に公開するデータベース内のファイルに参加者のお名前が登録されます（希望者のみ）。

〔会場〕 京都大学 理学研究科セミナーハウス

（左京区北白川追分町 北部構内） アクセスマップ 10 番の建物
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html

〔対象〕 中学生以上 〔定員〕 24 名

〔参加費〕 無料

〔申込み〕 <https://goo.gl/forms/u0jm4FYJz4TKZ1vt1>

★エクセルがインストールされた、ご自分のノートコンピュータを持参できる方が望ましいですが、持参できない方には、こちらでノートコンピュータをお貸しできます。申込みの際、希望を明記してください。ただし用意できる台数を越える希望者があった場合には抽選とさせていただきます。



※定員に達し次第、締切り

〔問合せ〕 能勢正仁 nose@kugi.kyoto-u.ac.jp または 田口聡 taguchi@kugi.kyoto-u.ac.jp



京都大学

2017年3月にカレッジ（アラスカ州）で撮影

[内容]

地磁気とその測定方法についての短い講義を受け、さらに、地磁気データを実際にコンピュータに入力する方法について具体的な説明を聞いていただきます。その後、各自で古いデータブックをもとにデータ入力を行っていただきます。データ入力にはノートコンピュータを用います。こちらで用意するマイクロソフト・エクセルのマクロを入れていただくことで、地磁気の変化を簡単に表示できると同時に、すぐに国際標準のデータファイルが作成できます。この題材を夏休みの自由研究に用いる中高生向けの講義も行います。作っていただいたファイルが、世界に向けて公開されているデータベースに実際に登録された様子も見ていただきます。

